



議会だより

第168号

かみみね



上峰町消防団 出初式

平成25年12月定例会

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ◎議案審議…………… P 2～5 | ◎一般質問…………… P 8～15 |
| ◎議案賛否表…………… P 6 | ◎上峰中学校子ども議会…… P 16～18 |
| ◎平成25年度補正予算…………… P 7 | ◎議会活動…………… P 19～20 |

上峰町ホームページ : <http://www.town.kamimine.lg.jp/>

発行 上峰町議会

〒849-0123 上峰町大字坊所383-1

人口 9,610人 男 4,608人

【12月末現在】 女 5,002人

平成26年1月27日発行

☎0952(52)2184

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株)音成印刷

いじめ等問題行動対策委員会設置条例など 19議案を可決！

平成25年第4回定例会は、12月6日から13日までの8日間の会期で開催され、55号議案から67号議案まで条例の改正、新設、補正予算など14議案をはじめ、意見書、請願審査報告、平成24年度決算特別委員会審査報告、また、閉会中の継続審査となっていた47号議案から51号議案について慎重に審議し、原案通り可決しました。

上峰町いじめ等問題行動対策委員会設置条例

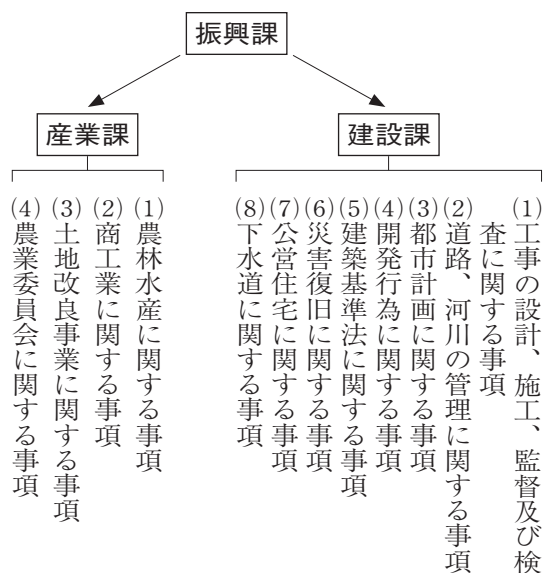
上峰町立学校におけるいじめ及び暴力等の問題行動対策に関し、専門的な見地から検討を行うため新たに委員会を設置するものです。

○いじめ等問題行動の実態把握及び分析
○いじめ等問題行動対策を推進するために、必要な事項の調査審議

(全員賛成)

上峰町課設置条例の一部改正

業務量の増加のため、現在の振興課を2課に分離するものです。



(全員賛成)

上峰町子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正

平成26年4月より、小学生の通院・調剤、中学生の入院・通院・調剤も補助の対象となるものです。

(全員賛成)

平成26年4月からの子どもの医療費の助成内容（個人負担額）

区分		就学前（現物給付）	小学生（償還払い）	中学生（償還払い）
個人負担額	入院	ひと月、1医療機関につき 上限 1,000円	ひと月、1医療機関につき 上限 1,000円	ひと月、1医療機関につき 上限 1,000円
	通院	ひと月、1医療機関につき 上限500円を2回まで	ひと月、1医療機関につき 上限500円を2回まで	ひと月、1医療機関につき 上限500円を2回まで
	調剤	負担なし	負担なし	負担なし

※網かけ部分が今回の改正分

上峰町子ども医療費の助成基金条例

特定防衛施設周辺整備調整交付金を財源として、子どもの医療費助成事業に要する経費に充てるために、基金を新たに設けるものです。

(全員賛成)

上峰町高齢者に対するあん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう等の施術についての給付条例

高齢者（65歳以上）に対し、あん摩等の施術料について平成26年4月から、施術券により給付をするものです。

主な内容

- 施術券は申請日の属する月から当該年度末まで、月1枚として算定した枚数を12枚以内で一括交付。
- 有効期限は、交付した年度の末日まで。
- 施術券1枚の給付額は、1回1000円以内とする。

(全員賛成)



人権擁護委員候補者の推薦について

氏 名 久米 琢馬
生年月日 昭和19年12月3日
住 所 切 通

(全員同意)



上峰町地域の元気臨時交付金基金条例

地域経済の活性化及び雇用創出を迅速かつ円滑に実施するために国から交付される「地域の元気臨時交付金」の一部を積み立てるものです。

(全員賛成)

鳥栖・三養基地区消防事務組合規約の変更に係る協議

鳥栖・三養基地区消防事務組合への負担金額の算出には、当該年度の基準財政需要額が用いられていますが、平成26年度からは、前年度の基準財政需要額を用いるように改正するものです。

(全員賛成)



意見書

2014年度地方財政の確立に関する意見書

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征
(全員賛成)

1. 社会保障分野の充実、農林水産業の再興、環境対策などの増大する地域の財政需要を的確に把握し、地方財政計画、地方交付税総額の実質的な確保をはかること。

3. 2014年度の地方財政においても巨額の財源不足が見込まれることから、別枠の加算について拡充するとともに、法定率の引き上げなど抜本的な対策を行うこと。

2. 地域における経済情勢は依然として厳しいことから、地域経済の活性化や雇用対策の取組みを実施するための措置として臨時的に設けられている、いわゆる歳出特別枠について減額を行わないこと。あわせて、歳出特別枠は実質的に地方自治体の安定的な財政運営に必要な財源となっていることから、臨時的経費から経常的な経費への転換をはかること。

4. 小規模自治体に配慮した段階補正の強化など、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の一層の強化をはかること。

5. 2013年度地方財政計画において、地方公務員給与費が国の臨時特例措置に準ずるとして削減されたが、2014年度予算においては、減額した給与関係経費等に係る財源については、完全に復元すること。

また、地方公務員給与費に係る地方財政計画、地方交付税の算定については、地方自治体との協議、合意のもとで算定のあり方を検討すること。

6. 地方法人特別税、地方法人特別譲与税の見直しや自動車取得税廃止に伴う代替財源を確実に確保すること。また、償却資産に係る固定資産税の確保などの課題は、地方自治体の意見を十分尊重し、自治体の財政運営に支障がないよう必要な地方税財源を安定的に確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書提出先

内閣総理大臣

安倍 晋三様

内閣官房長官

菅 義偉様

総務大臣

新藤 義孝様

財務大臣

麻生 太郎様

請願審査報告

提出者 振興常任委員長 岡 光 廣

件名

請願第1号 大字江迎地区排水機設置について

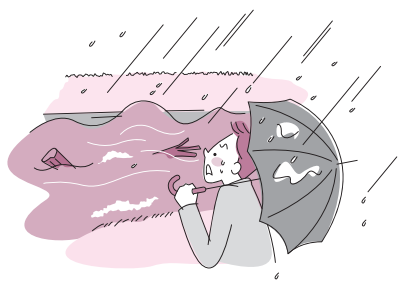
審査結果

採択すべきもの

主な意見

排水機の設置には多大な費用を要するため、町単独での設置は困難であると考えられるが、大雨時における冠水被害の解消のため、期成会等の広域的な組織において、国・県等の関係機関に対し、必要な対策を講じるよう強力に要望すべき。

(全員賛成)



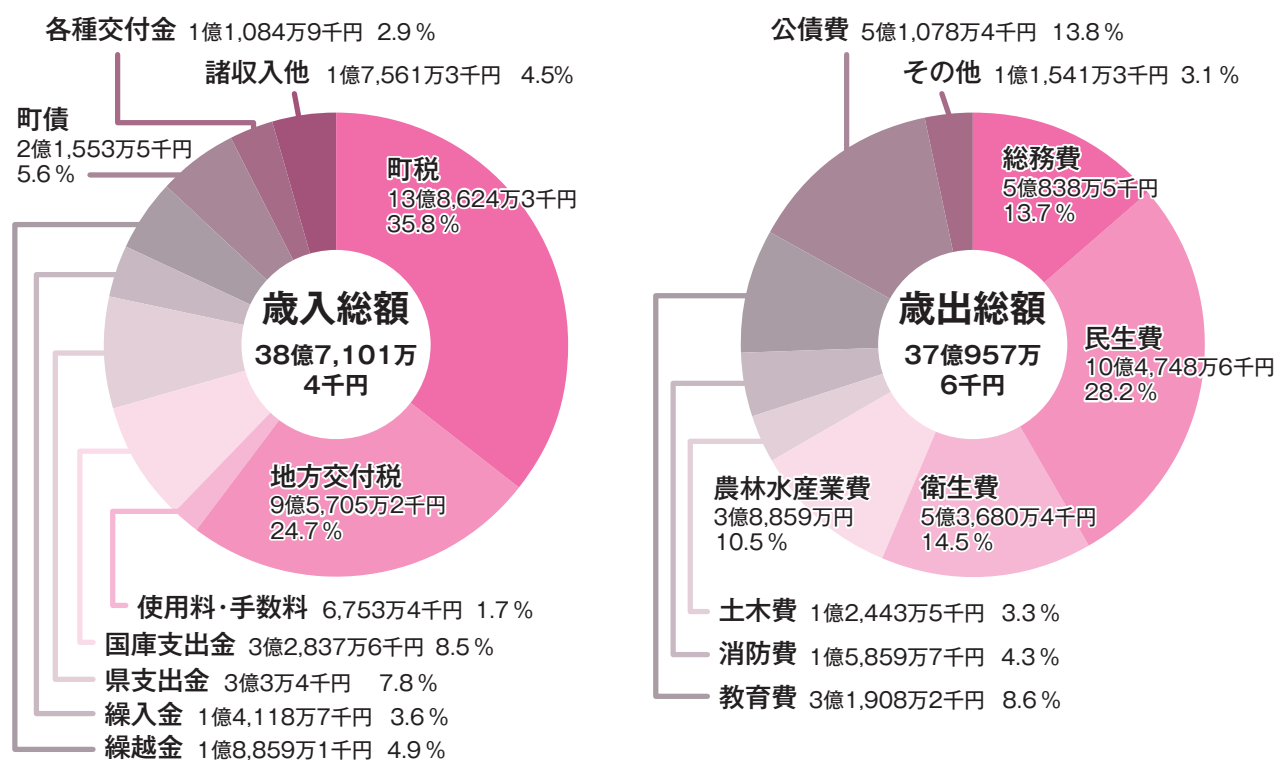
江見排水機場の視察（振興常任委員会）

平成24年度 一般会計・特別会計決算を認定

決算特別委員会委員長 林 眞敏

平成25年9月11日の本会議において、本委員会に付託された平成24年度上峰町一般会計歳入歳出決算及び各種特別会計歳入歳出決算について、9月26日、30日及び10月1日の3日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見書及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め全員賛成をもって認定すべきものと決定しました。

■一般会計（歳入総額 38億7,101万4千円：歳出総額 37億957万6千円：差引額 1億6,143万8千円）



■特別会計

特別会計名称	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	10億3,008万4千円	9億1,869万6千円	1億1,138万8千円
後期高齢者医療	9,218万円	8,942万5千円	275万5千円
土地取得	304万8千円	148万1千円	156万7千円
農業集落排水	6億2,226万5千円	5億9,810万3千円	2,416万2千円

■主な財政指標

	指標の説明	平成24年度	平成23年度
財政力指数	町の財政力を表す指数。1に近い団体ほど自主財源の割合が高く、財政に余裕があるとされる。	0.57	0.58
経常収支比率	町の財政の弾力性を表す指標。数値が低い団体ほど自由に使える財源が多いとされる。	91.4%	88.4%
実質公債費比率	町の借金返済額が標準財政規模に占める割合を表す指標。18%を超えると起債の際に許可が必要となり、25%を超えると起債に制限がかかる。	20.5%	21.2%
将来負担比率	現時点で、町が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表す指標。	80.6%	113.9%

議長あいさつ



議長 中山 五雄

新年明けましておめでとうございます。心からお祝い申し上げます。昨年は例年になく猛暑が続いたり、ゲリラ豪雨や竜巻による被害など思いもつかない災害が全国各地で発生しており、未だに避難生活を余儀なくされている方が沢山おられると思います。心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。国政では、安倍政権が去る12月5日に経済対策として、5兆円規模の補正予算を閣議決定し、長引くデフレからの脱却と経済の再生を図るため「金融政策・財政政策・成長戦略」の3本の矢にたとえ好循環実現のための経済対策と称し、経

済再生を目指しておられるようです。今回の経済対策は地方にどれだけの経済効果があるのか分かりませんが、一日も早く地方が元気の出るような政策をとっていただくよう今後も上峰町議会として、国会議員の先生方に強く要望していききたいと思っております。

11月には中学生の子ども議会が実施され、ICT活用・公共施設や公園の老朽化及び交通安全問題など自分達の目線で見た率直な質問だったと思います。皆さん方の質問が実現できるように議会としても後押ししていきたいと思っております。12月定例会も全議案が全議員の理解により、全会一致で可決いたしました。平成26年も昨年以上に全議員が力を合わせ、財政健全化や教育問題、福祉の充実、安全安心の町づくりに努力していききたいと思っております。今年も宜しくお願い申し上げます。上げ新年のごあいさついたします。

平成25年 第4回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			原田 希	寺崎 太彦	橋本 重雄	碓 勝征	松田 俊和	岡 光廣	吉富 隆	大川 隆城	林 眞敏
定例会	— 2014年度地方財政の確立に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	— 請願審査報告 「大字江迎地区排水機設置について」(採択)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	— 平成24年度決算特別委員会審査報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 平成24年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 平成24年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 平成24年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50 平成24年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51 平成24年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55 上峰町課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56 上峰町いじめ等問題行動対策委員会設置条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 上峰町地域の元気臨時交付金基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59 上峰町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60 上峰町子どもの医療費の助成基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61 上峰町高齢者に対するあん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう等の施術についての給付条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62 上峰町都市計画審議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63 平成25年度上峰町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64 平成25年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65 平成25年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会	66 鳥栖・三養基地区障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に係る協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67 鳥栖・三養基地区消防事務組合規約の変更に係る協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	— 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対

平成25年度 補正予算

一般会計

1億4,635万7千円増額して
総額39億5,004万9千円となる
補正予算の主なものは…

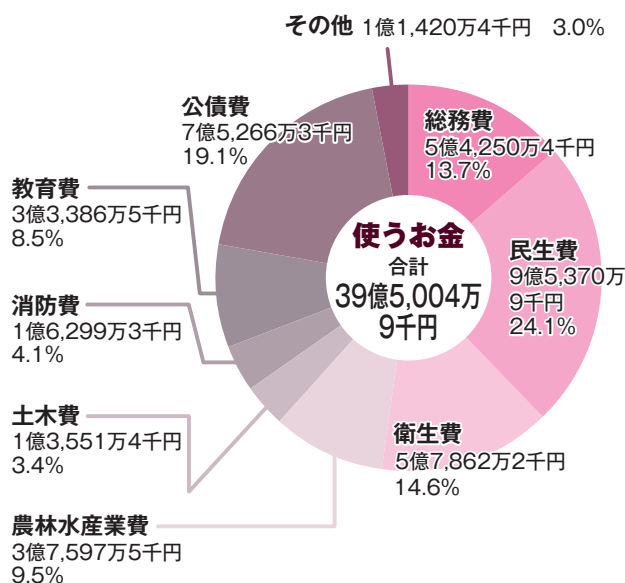
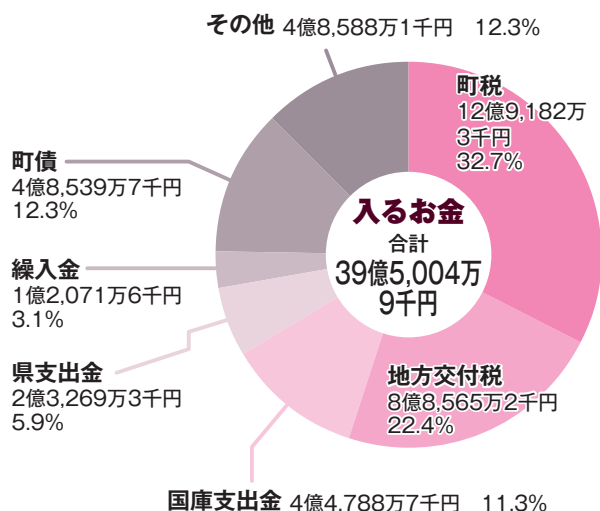
歳入（増額のみ）

- ◎町税
 - ・固定資産税 …… 4,850万5千円
 - ・たばこ税 …… 459万6千円
- ◎保育所入所負担金 …… 473万1千円
- ◎地域の元気臨時交付金 …… 7,587万7千円
- ◎農業基盤整備促進事業補助金
…………… 2,715万円
- ◎安心こども基金補助金 …… 1,010万円

歳出（増額のみ）

- ◎地域の元気臨時交付金基金積立
…………… 5,402万8千円
- ◎子ども子育て支援システム構築費
…………… 939万6千円
- ◎保育所運営費 …… 1,033万1千円
- ◎子どもの医療費助成基金積立 …… 700万円
- ◎佐賀東部水道企業団浄水場改修補助金
…………… 179万9千円
- ◎地下水位制御システム（フォアス）
設計・工事費（碓地区） …… 3,910万円
- ◎町道拡幅用地購入費 …… 1,900万円
- ◎小学校南校舎エアコン改修設計費
…………… 147万円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計

91万1千円を増額し、10億5,526万円となる

農業集落排水特別会計

480万円を増額し、7億7,876万3千円となる

一般質問



そこが聞きたい



ゆるキャラ制定・活用は

答 公募によって決めるもの

議員

今、各市町独自のゆるキャラを制定しPRに活用し、大いに効果があがっている。その最たるものが熊本のかまモン、近頃は外国まで遠征している。

わが町にはてんりゅうくんがいるが、米多浮立のマスコットのイメージが強い。新たに町をイメージできるゆるキャラを町内外の皆さんのアイデアをいただくために公募したかどうか。

武廣町長

てんりゅうくんは米多浮立のマスコットと同時に、今は広報誌に掲載されたりと、親しみのあるキャラクターとなっているが、最終的には公募でと思っている。

その際、てんりゅうくんも含めてと思うが、三月の前牟田地区の総会等の結果も確認する必要があると思う。ゆるキャラを作るとしたら公募を行い決める。



大川 隆城 議員

小・中学校の土曜開校を

答 実施を検討中

議員

先日、文部科学省は学力向上のため、土曜授業を各市町教育委員会の判断で実施できるように省令を改正した。

週5日制の中でカリキュラムの達成もできず、授業時間が足りないとの声もある。

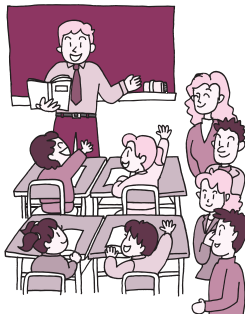
加えて道徳が正式教科となり、時数も増えるので、ゆとり教育以前の土曜授業の実施が必要である。

小野教育課長

週5日制の中で緊急避難訓練、交通安全教室等実施してきたのを、土曜開校時に回したらと考えている。道徳も教科となるので、きちんと教えていきたい。

議員

文部科学大臣は子ども達の学力向上に、学校・家庭・



地域が一体となり取り組みと同時に、保護者や地域に説明責任を果たすのが重要だと、全国学力テストの成績公表を認められ、佐賀県教育委員会も文部科学省方針を支持した。

各市町教育委員会の学校別成績公表を来年度から認められたが、町教育委員会として公表して良いと思うかどうか。

小野教育課長

教育長が緊急入院しているの、復帰後近隣市町の動向を見ながら協議したい。

功績のあった方は遅延なく顕彰を

答 懸垂幕を準備中

議員

過去スポーツ関係では顕彰された経緯があるが、昨年から今年にかけて肉牛枝肉共励会で農林水産大臣賞（日本一）受賞者3名、また馬術競技で日本一の方などおられる。今後は各分野で功績をあげ

よう準備中である。遅くなったことをお詫びしたい。それぞれの活躍は逐次広報誌に掲載しているが、基準の設定は必要と思う。今後は顕彰していく上での区分については内部協議していく。

延なく顕彰すべき。それには町の表彰規定に基準を設けるなど不公平感のないよう検討してもらいたい。

池田総務課長

議員からかねて指摘を受けていたが、先般、上司の決裁を受け懸垂幕を掲げる



町民センター東側の懸垂幕

ほかに

○東部地区地域ビジョン検討会の現状は

町の農業対策は

答 農業振興対策協議会にはかる

議員

国会でも農業対策問題についても議論がなされており、またTPP問題も大詰めになっており町の農業をどのように考えているか。

武廣町長

農業問題が山積していて、本町における課題をしっかりと見極めた上で今後、協議を進めていく。

議員

計画を持って進めていた。また、減反対策はどのように考えているか。

また、減反対策はどのように考えているか。

江崎振興課長

農業団体と適切な連携をとりながら進める。



吉富 隆 議員

議員

平成26年度は、減反は決定しているので、平成27年以降の対策については、いち早く取組まないとい行政の負担が高くなるのではない。

武廣町長

生産技術を革新し、基盤整備を進め、情報をしっかりと見守りながら、本町の農業振興対策協議会で協議し、提言をいただき進めていく。

議員

中山間地域についてはどうか。

江崎振興課長

農地中間管理機構制度を設け、進める。

議員

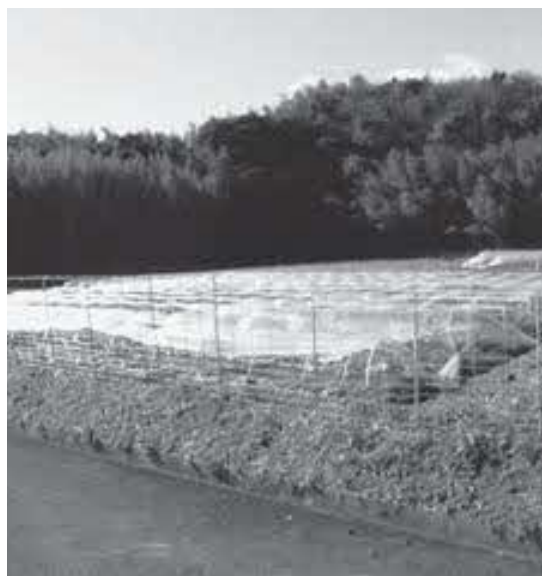
大字堤地区については、

裏作問題など、遊休農地が増える可能性が大であって非常に厳しい地域になると

思うが町の考えは。

江崎振興課長

農地中間管理機構を通じて土地の集約等を行っていくよう指導をする。



畑地を利用した特殊作物栽培



中山間地の農地（鳥越地区）

町内道路整備は

答 財政健全化と並行して進める

議員

今後、道路整備については計画性を持って進めるべきではないか。

武廣町長

基本的に、事業自体は、町費を極力使わず交付金・補助金等を活用しながら財政健全化と並行して事業を進めるよう強く要望する。

進めていく。

議員

町内道路整備及び新設道路についても施工に向けて進めるよう強く要望する。

ほかに
○町の風水害対策について



道路整備が必要な道路（三上地区）



原田 希 議員

現在の保育事業の状況は

【答】定数は十分にある

議員

広域の保育所に行かれて
いる方の人数が年々増えて
きているが、この理由は、

江頭住民課長

理由については、当初の
申請の時から、勤務地の都
合などによって広域を希望
されている。

議員

町内の保育所がいつばい
で入所できない、という話
も聞かぬがいかかがか。

武廣町長

数字に限って見ると、そ
ういう事実はない。厚労省
より児童家庭局保育課通知
により、定数の1・2倍ま
で運用可能という状況に
なっており、また町内の入

所可能な施設はあると理解
していただきたい。

議員

行政報告で、広域が60名
とあった。全員が仕事の都
合で町外に行かれていて
いうことでよいのか。

武廣町長

数字上見れば定数は十分
にある中で、そういう意見
もあるため、子ども・子育
て三法案に基づきニーズ調
査をしつかり行っていく段
取りになっている。その結
果を受けて、広域保育にせ
ざるを得なかったご家庭の
都合というものも定量的に
把握できていると思っている。

特別保育事業の考えは

【答】必要があれば検討

議員

病後児保育事業の状況は、

江頭住民課長

現在、本町内の2保育園
での事業実施はされていな
い。今後、対象児童の把握
をした上、必要があれば検
討していきたい。

議員

私は必要だと思つが、そ
ういう声は聞かれてないの
か。

武廣町長

子ども・子育て三法案に
基づき、ニーズ調査をもと
に事業実施していくことが
税金の使い方として、町民
に最も誠意があると思つて

いる。病後児保育事業をこ
れから町で行うか、広域で
対応するかを考える上で定
量的な把握をニーズ調査に
よって行うべきだと考えて
いる。

議員

今後の保育事業に対する
考えは、

江頭住民課長

保護者が安心して保育の
支援が受けられる環境づく
りを目指していきたいと思
っている。



放課後児童クラブの今後は

【答】受け入れ年齢の拡充を検討

議員

対象学年の引き上げや時
間の拡大の考えは。

小野教育課長

平成26年度には、受け入
れの年齢を拡充するように
協議検討していく。

議員

時間については、平日は
放課後から午後6時まで、
長期休業中は午前8時半か
ら午後6時まで受け入れを
している。ただし、6時に
なったから子どもを置いて
指導者が帰るということ
はないし、夏休みも時間は
柔軟に対応しているというこ
となので、時間の延長、前
倒しは考えていない。

議員

柔軟に対応されている先
生方はすばらしいと思つが、
その部分はボランティアだ
と思つ。開所時間を延長し、
柔軟な対応をされている部
分も報酬がもらえるような
体制をきちんと作るべきだ
と思つ。また、今の時間帯
では、仕事の都合で迎えが

間に合わず、利用したいが
できないという方もいると
思つが。

小野教育課長

柔軟な対応は確かにボラ
ンティアでしていただいて
いる。そういったことを鑑
みると、延長をきちんとし
て、先生方にも相応の報酬
を支払うのが当たり前から
思つ。しかし、延長すると
様々な問題も予想されるの
で、時間延長するのをため
らっている。

議員

基本的にこの事業は、子
育てと仕事の両立支援。そ
ういう視点で考えていただ
きたい。

小野教育課長

当然、子育て支援につい
ては前向きに進めていきたく
いと思つ。他の市町を勉強
しながら、やれる分につい
ては検討したいと思つ。

公用車の更新と効率化は

【答】稼働率、効率化は向上

議員

公用車も、省エネタイプの車に更新されているが、計画的な更新と集中管理による、効率化はできないか。北島企画課長

平成18年度までは普通車が19台、軽自動車5台、合計24台だった。平成21年度以降、公用車の削減を行いつつ、古いものの運行に支障が出てきたもの、それから、普通車から軽自動車へという基本方針のもと入れかえを進めてきた。平成18年度と比較すると、普通車が12台の減、軽自動車が5台の増となり、平成25年度は、普通車7台、軽自動車10台、全体で17台の公用車



寺崎 太彦 議員

を所有している。また未更新の車が普通車2台、軽乗用車1台、軽ワゴン車1台、軽トラック2台の合計6台あり、車の状況を見ながら、更新時期を検討している。

公用車の効率化は、平成22年10月に、パソコンのシステムを更新し、職員が必要な自動車を、瞬時に予約できるシステムにより、稼働率および効率化は以前よりも向上している。

災害等を考えた場合、消防車以外に普通車の四駆など、災害等対応できるような車も検討している。

議員

更新時、基準を定めて計画的に進めてもらいたい。

EVステーション設置は

【答】検討している

議員

国もEV車の普及を目指しており、補助金もあるので、公用車のEV車の導入と、EVステーションの設置は。

武蔵町長

佐賀県では、低炭素社会の実現とあわせて関連する産業の振興を目指して取り組まれている。国においては、平成24年度補正予算において、電気自動車等の急



EVステーション（ファミリーマート東脊振インター店）

速充電器の整備に対する補助事業が開始され、これに加え、自動車会社4社による追加の支援策が発表されている。自動車会社4社が支援の条件に、自治体がある施設ということ、案内が町にきている。これにより、本町でも検討している段階である。

EV車の導入も、EVステーション設置と同様に検討している。

歩道の水たまり、転落防止柵の改修は

【答】いち早く補修する

議員

歩道に設置している転落防止柵は取りつけが甘く、外れそうになっており、また、水たまりができて歩きにくいのでは。

江崎振興課長

下坊所より県道神埼北茂安線までの歩道のネットフェンスは、年数も経過し、破れやたわみがある。通学路として利用されているので、今年度の設置計画により対応していきたい。

歩道の水たまり対策だが、下津毛より県道神埼北茂安線の区間で、水たまりができており、調査の結果約600mの区間が路面が下がっている。この歩道も、通学路や公共施設等へ通じているので、早急な対応が必要である。



老朽化したネットフェンス（下坊所）



歩道の水たまり（上坊所）

- ほかに
- ガードパイプやガー
 - ドレール、カーブミ
 - ラーの景観に配慮し
 - た設置
 - レイクタウンの入り
 - 口に信号機設置は
 - 公用車の管理と使用
 - 規則は



碓 勝征 議員

住民サービスの対応は

答 総合案内カウンターを新設

議員

住民サービスとは、来庁
町民への姿勢、受入れ体制
はどうあるべきか。

江頭住民課長

職員は、町民の奉仕者で
ある。来庁の町民へ快く対
応すべきと心がけている。

来年度の機構改革に合わ
せ総合案内カウンターを設
置予定である。

議員

住民サービスをよりよく
するために、民間研修・体
験研修（自衛隊）の実施は
どうか。更に住民サービス
に対する課長会等の勉強会
の実施指導はどうか。副町
長の考えをたずねる。

八谷副町長

職員の仕事は、町民に対
する行政サービスであり、
職員はサービスの提供者で
ある。挨拶や言葉使い、対
応するスピードなど、いわ
ゆる住民への接遇はその基
礎、基本である。この接遇
の能力を上げることが大事
であり業務遂行する上で欠
かせないものがある。

課長会等で、接遇につい

て質の向上を指示する。研
修等必要であれば、今後町
長とも協議したい。

議員

今回、住民サービス目的
で事務機構改正を提案され
ているが、職員配置は長の
権限なので、住民サービス

に支障の出ないような、い
わゆる適材適所の配置を。
偏らない、公平平等な体制
づくりを実施すべきだ。町
長へたずねる。

武廣町長

現在、職員68名。徐々に
増員していき、適材適所に
配置する。加えて、職員の
キャリア、能力を発揮でき
る人員配置をやるために、
定員関係の計画を策定して
いきたい。

議員

住民よりの要望（つよく
要求すること）・要請（願
い求める）への経過はどう
か。

○榎寺住宅線（下坊所）・
下坊所住宅線・榎寺線の交
差する「三差路」での事故
発生後の要請への対応は。

○下津毛三田川線・郡境坊
所線・米多坊所線・榎寺線
の交差する、坊所三上地区
の「変則五差路」、長年の

懸案（多年決定せずに残っ
ている）道路である本年度
の取組は。

○御陵公園等内の伐採及び
フェンス張替整備はされた。
天皇家の御陵は県内では、
我が町1カ所だけと聞く、
この「位置看板」を設置す
べき。

また、西側から公園に入
る「手すり」「トイレ」の設
置の要望があがっている。
御陵前のバス停名称変更
の経過は。

宮内庁との事前協議の経
過は。

池田総務課長

下坊所住宅周辺の交通事
故の発生地への対応である
が、「交差点の囲い込の標
識」設置を今年度中に施行
する。

北島企画課長

御陵等の「位置看板」設
置は、県道側のフェンスに
貼りつけを予定している。

「手すり」「トイレ」の設
置は、新年度予算で計画予
定する。

武廣町長
御陵前のバス停「坊所」
の名称変更の件は県のバス
対策協議会で協議中で前向
きに検討している段階であ
る。

坊所三上「変則五差路」
改良事業は、振興常任委員
会で3案の法線計画が選択
されている。この法線に関
係する地権者の同意が必要
であり、限られた財政状況
の中で、効率的に道路の供
用に向かうためには、地元
の同意がないことには進め
ない。法線の同意を基に初
めて町として計画をしてい
くことになる。更に新設道
路全体（三上地区内）にか
かわることにもなる。

原田文化課長

御陵公園と都紀女加王墓
（御陵）の「位置看板」設
置の件は看板の内容説明文
を策定中で、でき次第、宮

内庁と事前協議に入ってい
く。

議員

新設道路「変則五差路」
の関係で、3案が今策定さ
れているが、どの案に進む
のか、地権者の同意は当然
必要だ。その取組姿勢が見
えない。改良することへの
期待感で、賛同された400名
近い署名者に対する積極姿
勢を示すべきだ。

「三上北地区内の道路改
良」も合わせて、防衛官の
補助・他の補助事業なり、
大事業になると思われるの
で、そういう意味で前向き
に取り組むべきだ。

ほかに

○環境美化

○いじめ調査結果は



土地改良区内の農地転用は

答 政権交代により許可になる

議員

土地改良区内の農地転用許可の考え方は。

江崎振興課長

平成21年の農地法の改正により、農業振興地域の除外の厳格化で厳しくなっていたが、政権交代により、農用地区域の変更改が可能となり、農地の転用が許可された。

議員

県の考え方が変わったということと理解してよいか。また今後も申請が出た場合、条件が合えば許可ができるということか。

武蔵町長

平成21年の農地法改正以降言ってきた、県の厳格な



橋本 重雄 議員



転用により造成が進む住宅地

対応からは緩和されていくのではないかと思っている。

三上地区の総合的な開発計画の必要性は

答 現状では総合的な開発計画は立てられない

議員

フォアス事業に取り組んだら、約10年間でかなりの農地転用ができないので、財政を豊かにするには、三上地区の総合的な開発計画が必要と思うが。

武蔵町長

国、県の交付金や補助金また、景気対策等の予算で町費が少なく済むなら対応すべきであろうと思うが、現状では、景気対策や交付金がない状況なので、総合的な開発計画は立てられない。

議員

実際的には三上地区は、虫食い状態で民間開発が進んでいる。町の計画があると業者にも協力願えるので、早急に総合的な計画を作成してもらうよう要望する。



三上地区より陳情の道路

中学校の廊下の整備は

答 平成26年度に実施する

議員

中学校の整備計画が、平成27年度より計画されているが、説明によると文部科学省の補助は廊下も対象になるが、防衛省の補助は対象にならない。しかし補助率は防衛省が高いということだったが。

小野教育課長

平成27年設計、平成28年29年施行を計画していたが、防衛省の補助で実施すれば、廊下は補助対象外ということとが解った。

この度、上峰町地域の元気臨時交付金という事業が平成26年度にあることになり、この事業で整備しようということになった。

議員

廊下の整備ができると聞いて安心した。生徒たちも喜ぶと思う。

ほかに

- フォアス事業完了後の農業振興対策は
- トイレの改修について
- 堀川産業跡地その後



整備が待たれる中学校廊下



岡 光廣 議員

企業誘致活動の現状は

答 メガソーラー設置を計画

議員

町有地「堀川産業跡地」の企業誘致について、進捗状況はどうなっているか。

武廣町長

誘致可能な船石工業団地は、平成26年度からメガソーラーの設置となる。

議員

企業誘致活動の中で堀川産業跡地がメガソーラー計画になった経過・内容は。

武廣町長

平成25年5月23日、九電工より事業の提案を受け検討に入る。

平成25年7月10日町内、町外の事業者等と協議を行い、平成25年7月12日九電工を選定して、覚書の締結

を平成25年7月26日行い、

九電工より11月7日に経過報告があり、現地立会まで済んでいる。

議員

誘致活動等具体的調査の内容が示されていないが。

武廣町長

企業誘致選定理由として①政府が太陽光発電の普及を設定し、1kW36円で20年間適用となっていたが、平成26年度から30円程度に引き下がること。

②事業費電計画を町として行うことは、財政状況から好ましくないと判断。

③適地の賃貸契約を結び安定的な収入を得ながら、固定資産税の収入も見込める。

④九州電力のグループ企業であり、企業の安定性・信頼性があると判断。「貸出期間は20年間」。

事業内容、契約内容等、議会に十分説明されていないが今後の取り組みは。

議員

事業内容、契約内容等、

議会に十分説明されていないが今後の取り組みは。

農業環境の整備計画

答 計画を基に進めていく

議員

農業環境の今後の整備計画はどのように考えているか。

武廣町長

①農業体質強化基盤整備事業で平成26年度「フォアス事業」として碓地区、北部堤地区を施工予定。

両地区とも属地主義的考

えで解釈していき、反当り工事費15万円を超える分は町が負担する計画。

②県営クリーク防災事業として前牟田地区を施工（県営事業）

③農地・水環境保全活動事業の継続。

④江迎地区の水路の浚渫事業。

武廣町長

事業内容の説明、また地域での説明を行っていく。

議員

事業の賃貸契約前、また

工事着工前には議会に対して事前説明をされることを強く要望する。（町長事前

に説明する）。

議員

農地中間管理機構の今後の管理業務について。

江崎振興課長

県としても具体的な案はない。今後、県から委託事業という形でくると思うので、今後内容を見ながら検討していく。

西峰地区・北地区にも食

食の開発が出ており、南北道路についても方向性をつけておく必要がある、前向きに検討している。

ほかに

○農業促進協議会の件

○過疎集落等再生緊急対策事業の補助金等

○農道の維持管理計画

○農業と住宅環境の整備促進

仮称西峰東西3号線の整備は

答 地元の同意・請願が前提

議員

仮称西峰東西3号線の改良調査計画は、どのようになっているか。

武廣町長

仮称西峰東西3号線は新設の道路となるので、請願の状況や地元の同意が前提でなければと考えている。

仮称西峰東西3号線は、費用対効果・定住化促進につながる道路であり、効果の高いものと理解している。

基本的には優先度で取り組んでいくべきと考えている。

西峰地区・北地区にも食

食の開発が出ており、南北道路についても方向性をつけておく必要がある、前向きに検討している。

議員

西峰地区は総合的に町づくりを進めていくために補助事業等はないのか。

八谷副町長

受益面積や路線の状況等を確認して、国・県の補助要綱に合致するような路線かどうか調査していく。

議員

西峰地区の環境整備は町の活性化・発展のためには重要な地域

と思う。

仮称西峰東西3号線

調査費を強く要望する。



防災対策は

答 逐次整備していきたい

議員

防災訓練のあり方について現状でよいのか。問題点は、或いはさらに進めていく必要はないか。

池田総務課長

現状としては、課題が多いが困難な面もありできるだけ改善し取り組んでみたい。

議員

自主防災組織の現在の進捗状況はどうか。

池田総務課長

整備について取り組んできたが不十分であり、今後も自主防災とはどういうものかについて、勉強会を開催する機会を設け、啓蒙啓発に取り組んでいきたい。



林 眞敏 議員

議員

自主防災について、県の指導はどうか。

池田総務課長

自主防災にあわせ消防団員の確保等、ノルマではないが要請はある。

議員

避難所標識の設置についてはどうなっているか。

池田総務課長

県内多くの市町で設置されている。

本町には10カ所の避難所について、平成26年度に整備を図っていききたい。

議員

教育に携わる職員への訓練はどうか。

小野教育課長

水難においては、梅雨時期の川やクリークが増水した箇所を、教職員が現地を踏査し、児童にこの場所は危険なので近寄らないように指導をしている。

議員

現地踏査は指導者・教師が行うのではなく、子ども達にみずから当事者として実施させないと判断基準が異なってくる。



東北の津波災害で起こった現実を教訓として、教師・教育者の、さらなる知識の向上を図っていただきたい。



町づくり活性化策は

答 ネットワーク化し、進めていきたい

議員

町づくりについて、新しい発想での活性化策はもっているか。

武廣町長

まちづくり活性化を進めていきたい方々のネットワークを強くしながら、既存のお祭りの集約を図ってつくっていくことが必要と思っている。

議員

町外からの移住者に、町を愛し育てていく気風を作っていくことと、さらに町内からだけではなく、外から上峰を見る目を養わなければならぬと思っております。「町民市」など町民で作りあげた行事等は途絶えさせてはならない。

ほかに

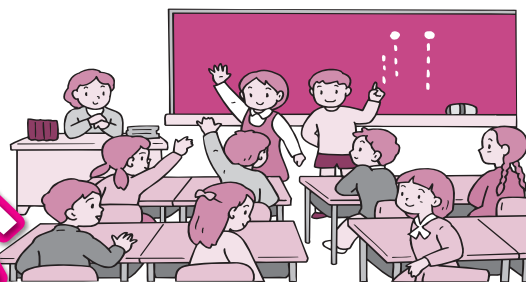
- 郷土唱歌について
- 長崎街道の復活について
- 防災備蓄の状況について

武廣町長

愛郷心を養うため、生きがいと感動に満ちた暮らしの確保、町民が主体となつて取り組める文化芸術活動の促進をもつて愛郷心は生まれてくるものだと思います、行政が押しつけてお祭りをするものではなく、皆さんがお祭りに対して自然に入っていく形を整えるのが行政の役割だと思います。



上峰中学校 子ども議会



平成25年11月11日、上峰町議会議場で、上峰中学校の3年生による子ども議会が開会されました。

子ども議会では、総合学習の授業で、グループ毎に調査したことについて代表者が子ども議員となり、町執行部に対して質問しました。

日常生活での疑問や改善を要する箇所の指摘など、鋭い質問内容でした。

子ども議会を終えての感想をそれぞれ書いていただきました。

議長 鳴山 太人

11月11日に僕は議長として子ども議会に参加させていただきました。

書いてあることを、ただ読むだけでいいと言われていたのですが、あまり緊張していなかったのですが、リハールでやってみると、予想とは全然違っても緊張しました。

本番の日はとても具合が悪く「こんな調子で大丈夫かな」と不安でした。しかし、役場に到着して職員の方に「頑張つて」などと声をかけてもらい元気が出ました。傍聴席や議員席にはたくさんの方がいて、一段と緊張が増しました。でも、本番では練習の成果が出たのか、意外とスラスラと読むことが出来ました。そして濱田さんと議長を替わると、強張っていた背中中の筋肉がやわらぎホッとしました。議会が終わると「上手やったよ」とほめていただきました。今回参加させていたいただいたことは一生に一度あるかないかの貴重な経験でした。

この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

議長 濱田 彩加

私は子ども議会の議長を務めるということになってまず思ったことは、「どうしよう」でした。

子ども議会の日、議員席に座る前から緊張が高まり、名前を呼ばれ議長席へ移動したとき、緊張がピークに達しました。私は後半からだったので、議長席の横で議員席や傍聴席に座る同級生や先生、町執行部の皆さんを見てやつと落ち着きました。

そして、前半の議長を務めた鳴山君と交代し、議事進行を始めました。少しほぐれた緊張がまた戻ってきました。けれども、隣に座っていた事務局の鶴田さんがアドバイスをしてくださったおかげで落ち着いて議事を進めることが出来ました。今回、議長として子ども議会に参加して、とても良い経験をしました。これから、この経験を生かしていきたいなと思います。

このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



ベクトルキャップの回収について

中島 涼子 議員

11月11日、私は一日上峰町議会議員として議会で「ベクトルキャップの回収について」という質問をしました。

調べた内容は「上峰町はどうやって回収しているか」や「回収されたものはどうするのか」などです。さらに私が町に質問したのが「決められた日に回収すること」や「回収したベッ



トボトルキャップを世界の子ども達に寄付してほしい。」というものです。質問する時に自己紹介においては、緊張しすぎて発言するタイミングを間違えてしまつこともありました。しかし、緊張に負けず、代表としてしっかりと質問しようと思えました。質問に対して、分かりやすく答弁していただきました。私が思ったのは上峰町が取り組んでいる内容は、循環型社会であり、3Rを推進していることに感動しました。

町の公共施設について

中島 彩香 議員

今回、子ども議会で議員をやってみて、とてもいい経験になりました。実際に、質問や要望を大勢の人の前で言うのは少し緊張しましたが、町の議会についてしっかりと学ぶことができました。執行部の方には、質問や要望に対して詳しく、そして私たちにわかりやすく答弁してくださったのでその内容についてきちんと理解することができました。私は、今回町の公共施設についてもっと利用者を増やす取り組みはどうしたらよいかと質問しました。この質問に対して、上峰町の公共施設の現状やこれからの取り組みを丁寧に答弁していただきました。これを聞き私たち中学生にも町のためにできることはたくさんあると感じました。

今回このような機会をいただきありがとうございます。これからも上峰町民として町にもっと貢献していききたいと思っています。

上峰町の公園の老朽化について

齊藤 瑞季 議員



11月11日に、子ども議会に参加しました。私は、上峰町にある公園の老朽化について質問しました。その中でも中心に質問させていただいたのが公園の遊具がこわれかけてきていることです。実際に行ってみて、今の上峰町内にある公園の遊具など現状について、知ることができました。はじめは、上峰町をもっとよくするにはどうしたらよいか悩みましたが自分の身の周

りのものを見直し無事に一般質問をすることができました。本番では、議場内がしずまりかえってとても緊張しましたが、今まで頑張ってきたことを伝えることができました。答弁では、分かりやすく説明していただきました。私は子ども議会に参加し、貴重な体験をさせていただきました。また、あらためて上峰町のことを考えることができました。ありがとうございました。



スクールゾーン設置について

江口 大雅 議員

僕は学校周辺のスクール

ゾーンの指定を提案しました。提案した理由は、学校周辺の交通状況が危険な状態にあると感じたからです。そこでグループのメンバーと一緒にいろいろ考えた結果、スクールゾーンが一番安全な環境づくりが可能であると判断しました。しかし、この提案に対する町長の答弁は僕たちの想像をはるかに超えたもので非常に驚きました。それは道路の形状を変化させ車のスピードを減速させるというものでした。正直こんな発想は思いつきもしませんでした。だからこそこの答弁を聞いた時は大人のみさんの真剣な心を感じることができました。なので、この議



上峰町の農業活性化について

高尾 未来 議員

私は、11月11日に行われた子ども議会に議員として参加しました。

私は、上峰町の農業活性化について質問しました。全国的に農業の情勢が厳しくなっているというのを知り、上峰町は実際にどのような取り組みをしているのか疑問に思ったからです。私が質問した内容について、中学生にも分かりやすいように詳しく答弁していただきました。その答弁を聞いて、自分が住んでいる町でも知らないことはたくさんあるんだなと思いました。そして、上峰町をよりよい町にするためにたくさんの取り組みが行われているこ

とが分かりました。今回の子ども議会を通して議員になって自分の意見を町に主張するということでも貴重な体験ができました。また、上峰町のことを詳しく知ることができました。これから、今回学んだことを生かしていきたいと思っています。今回、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



上峰町のICT活用について

田中 義記 議員

自分は11月11日、上峰町一日議員を務めさせていただきました。



会場も静かになって緊張も増し、ガチガチな体を動かしICT教育の質問を議員の人達の前で発表しました。そこで学んだことは、議員の方々の真剣な取り組みと上峰町はICTを取り入れるのが中々難しいという現状でした。

ですが、数年後には実施をするという大変嬉しい言葉をおっしゃってくださいました。

自分の発言で上峰町が少しずつ変わっていくということが体感できる貴重な経験で、また、未来の上峰町や町民の皆さん方へ手助けをするということも出来る一生に一度のすばらしい体験でもありました。

験でもありました。

他の議案なども議員の方々の一生懸命な行動により数年後には実施されるということでした。

今回この子ども議会に出て貴重で、すばらしい体験をさせていただきありがとうございました。

上峰町の交通安全対策について

大川恵美里 議員

11月11日、私は子ども議会に出席しました。子ども議会とは、上峰町の改善点を上峰町の執行部に質問して、答弁をもらうというものです。私はカーブミラーについて質問しました。質問する時間はそこまで長くなかったのですが、緊張で声が裏返りそうになったりしました。リハーサルや練習では大きな声で言うことができましたのに、難しかったです。とても緊張しましたが大変貴重な体験をさせてもらいました。準備は大変だったけれど、自分の主張を上峰町の執行部の方に質

問することができたので嬉しいのです。この経験を生かしてこれからも頑張っていきたいと思っています。



上峰町の街灯設置について

石丸 琴子 議員

私は初めて「子ども議会」に参加しました。本番の会場ではすごく緊張しました。私は今回「上峰町の街灯設置」について質問いたしました。

私は学校からの帰宅時に下津毛を通っています。その時、街灯が暗くて道が見えにくいことがありました。



それに加えて、自動車などが見えにくく、曲がる時などに交通事故にいう可能性があると었습니다。

このことから私は、私以外の中学生や小学生も街灯がない道を通る時は危険だと思いました。

議会当日、会場は静まりかえっていて、リハーサルの時とは違う別の場所にいるようでした。

私は子ども議会を通して上峰町のみんなのことを思い自分の意見を主張することができ、貴重な体験をすることができました。

私たちは上峰町民として、みんながもとと安心できる町となるように協力したいと思いました。



各団体との意見交換会

10月28日（月）上峰町農業委員会、また11月5日（火）には上峰町商工会役員との意見交換会を庁舎内において実施しました。

農業委員会の委員との意見交換の内容は、主として町内における今後の農業振興について、特に「特産品（ブランド化）」6次産業化「遊休農地対策」「有害鳥獣対策」および「肥育牛、イチゴ、アスパラ、白菜、玉ねぎ」について、各委員（生産者）と議員との

間で、問題点・対策の話し合いを、また商工会役員との意見交換では、「鎮西山さくら祭りの開催」「町内商工業者の振興」「かみちやリ格蘭プリ2013開催」および「寄事項等」について、各委員が抱えている問題事項また各議員からも活発な提案がなされ、意義のある意見交換会となりました。



小竹町議会（福岡県）からの研修受け入れ

平成25年10月29日（火）上峰町議会は、福岡県小竹町議会（議員11名、副町長以下6名）の視察研修を受け入れました。

小竹町は、福岡県のほぼ中央、飯塚市の北に位置し人口約8500人の町であります。

小竹町からの主な視察事項としては、定住促進などの町政振興施策、特に「企業誘致関係」「通学・福祉バス」等について忌憚のない意見の交換を実施する等、

両町にとつての町づくりについて役に立つ内容でした。企業誘致関係については、東部工業団地（公団）、船石工業団地（県営）を、また通学・福祉バスは「のらんかいバス」の経緯および事業概要について説明を行いました。小竹町からは、「今後のまちづくり」のため、大いに参考にさせていただくことでした。



議会を傍聴してみませんか

町民の皆様から選ばれた議員が、議場で町民のためになる発言をしているのか、町の執行部（町長・課長など）は町民のためになる施策をどのように計画・実施しているのか、町民の皆様の目と耳でお確かめいただきたいと思います。

町議会定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれており、次回3月定例会の会期は2月28日（金）から3月14日（金）までを予定しています。一般質問は3月10日（月）及び11日（火）です。

お忙しいとは思いますが、傍聴していただき、町民の皆様のご意見をたくさんお寄せいただければ幸いです。

※上峰町のホームページを検索いただきますと、議会の日程等を紹介していますので、参考にしてください。

（上峰町ホームページ <http://www.town.kamimine.lg.jp/>）



いきいき!!

文化協会サークル

紹介

9

書道サークル

私たち書道サークルは、日高柳子先生のご指導のもと月3回中国古典を中心に臨書や創作などの勉強しております。

また、月初めの土曜日には町民センターにて、他の書道有志の方々との研修会を行い、意見の交換やコミュニケーションの場として楽しく勉強しています。

書道を通して、知識を深め

椿会 カラオケ

私達椿会は、カラオケをこよなく愛するサークルです。神埼市の坂井先生の指導のもと、町民センターにおいて、水曜日の午後1時から4時まで練習しています。(月3回)現在、メンバーは男女あわせて7名で、和気あいあいと歌っています。

楽しく歌うことで、老化防止やストレス解消にもなりま

心の豊かさや向上心・探究心を養い日々、研鑽を重ねております。けれど、あくまで町のサークル活動ですので、楽しんで書くことが、一番！

ただいま新規会員募集をしています。お気軽に見学にお越し下さい。

書道に興味のある方！ぜひ私と一緒に、まずは筆を持つところから始めてみませんか！

連絡先 泊 去子

☎0952-20-1115

すよ。

練習のほか、年に3回のおさらい会と「艶歌まつり」を開催しています。

皆さんも入会し、楽しく活動しませんか。お待ちしております。

連絡先 藤戸 政代

☎0952-52-6870



各種行事への参加(10月～12月)

- 10月6日 上峰小学校運動会
- 10月11日 市町村行政講演会
- 10月12日 目達原駐屯地創立記念行事
- 10月13日 町民体育大会
- 10月26・27日 米多浮立
- 11月1日 上峰中学校文化発表会
- 11月3日 町民文化祭
- 11月10日 消防団防災訓練
- 11月20日 郡内全議員研修会
- 11月24日 かみちゃりグランプリ
- 11月26日 目達原駐屯地司令との意見交換会
- 11月27日 青少年健全育成大会
- 12月1日 上峰幼稚園おゆうぎ会
- 12月14日 上峰町防衛協会総会
- 12月22日 おたつしゃ館もちつき交流会



かみちゃりグランプリ

あ と が き

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお祝い申し上げます。

今年の冬は、例年になく全国的な寒波の襲来により寒い日々が続いており、春の訪れが待ち遠しい今日この頃、風邪などひかないよう健康管理は十分気をつけたいと思います。

さて、月日の経つのは早いもので、広報編集に携わり3年が経とうとしております。常に皆様から親しまれる読み易い「議会だより」を目指し取り組んでまいりましたが、これからも現状に満足することなく日々研さんを重ね、より良い「議会だより」を作り上げたいと、広報編集委員一同決意を新たにしております。

議会だより

広報編集委員会
委員長 原田 希
副委員長 寺崎 太彦
委員 林 真敏
委員 碓 勝征
委員 橋本 重雄